

7. 履修について

① キャップ制について

キャップ制とは、1年間の履修登録単位数に上限を設ける制度です。では、なぜ履修登録単位数に上限を設けて制限する必要があるのでしょうか。

その主な目的は、各科目の予習・復習を無理なく行えるようにし、単位制度本来の趣旨に添った学習時間を確保することです。

履修単位数の上限をどのように定めるかの詳細については、各大学がそれぞれの状況を踏まえて自主的に判断することとされており、本学では全学的に1年間で49単位以下(理学部では教職に関する科目はキャップ制の対象としない)として設定しています。

履修登録をする際は、前期・後期のバランスを考えて登録をしてください。前期に多くの科目を履修しすぎると、後期に履修したい科目が登録できなくなるので注意してください。

② 履修方法

理学部カリキュラムに基づき、卒業に必要な単位を配当年次にしたがい履修します。

理学部は楔形により教養と専門との相互乗り入れと、学科間の横のつながりを強化した教育体系を取り入れ、次のとおり履修基準(＝進級要件)を定めています。

【科目群・科目系の履修基準】

科目群	必・選	科目系	履修基準
1 群科目	必修	基礎教育科目 外国語系「英語」	配当年次に必修
		人間形成の基礎科目	配当年次に応じ、各学科の定める基準単位を履修 ・1年次に進級要件の単位数以上を修得した場合は2年次の進級要件単位数から減らすことができる
	選択	総合領域科目	
		基礎教育科目	
		教養演習系科目	
2 群科目	必修		配当年次に必修
3 群科目	必修		配当年次に必修
2 群科目 3 群科目	選択		各学科の定める進級要件に基づき、原則として配当年次に履修 ・下級年次に履修基準の単位数以上を修得した場合は上級年次の進級要件単位数から減らすことができる
3 群科目	自由*	知的財産論	2・3年次対象
		海外短期留学プログラム	1年次～4年次対象
4 群科目	自由*	他学部の開講科目	1年次後期～4年次対象
		単位互換科目	1年次後期～4年次対象
		共同授業科目	指定なし
		総合的な能力を形成する科目	1年次～4年次対象

*自由科目は卒業要件単位には含まない